

授業科目名	ライフプランニングから見た金融
授業科目名（英字）	Finance from the perspective of life planning
時間割	1Q 木曜日 5 校時 L - 3 1 4
対象年次及び学年	1 年次
担当教員	三好 秀和
ナンバリングコード・水準	B1
ナンバリングコード・分野	LFD
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)	dec
ナンバリングコード・提供部局	G
ナンバリングコード・対象学生	1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	O
ナンバリングコード・授業形態	Lx
ナンバリングコード・単位数	1

関連授業科目	なし
履修推奨科目	なし
学習時間	授業 9 0 分× 8 回 自学自習(準備学習 1 5 時間 + 事後学習 1 5 時間)
授業の概要	パソコンの表計算ソフトを利用して、日本人の標準的なライフプランを作成します。その作成した結果から生活を全うするために必要な金融商品学ぶことでラ問題、非正規雇用問題、男女賃金差問題が具体的に理解できます。また、金融商品の意義がわかる一方で本来の目的から外れた金融商品の購入の仕
授業の目的	人生に金融はどのように役立っているのでしょうか。この疑問に答えるためのベースとなっている人々に生活に焦点をあて日本人の標準的な生活を金銭的な視を通じて描き出す能力を身に付けることができます。そして、その能力は自分の将来を描きだすことができるようになり、さらには倫理観に即したあるべき姿を創造
到達目標	1.標準的なライフプランと金融商品の同時の学びで消費者トラブルが生じた原因を考え、市民としての責任感と倫理観を身につける。(市民としての責任感と 2.日本人の標準的なライフプランで人生について発見、気づき、社会の問題発見能力が養える。(広範な人文・社会・自然に関する知識対応) 3.レポートにおいて地域住民であり生活者である父母のライフプランを作成し、その中からの気づきにより地域課題を発見できる。(地域に関する関心と理解)
成績評価の方法	平常点 4 0 %、レポート 6 0 %、有益な発言意見には別途加点をおこなう。平常点は出席点ではありません。
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。
授業計画並びに授業及び学習の方法	【授業計画】 第1回 シラバスに基づいて授業の全体像を説明する。また、ライフプランとは何か。統計データをどう集めるか。家族のセットアップと家計統計について説明する。 第2回 収入1 日本人の平均年収、正規と非正規、男女賃金差、岡山の最低賃金を知る。 第3回 収入2 上場企業の年収、君のいきたい会社の年収は？ その差の原因は何か？ 第4回 三大支出1 生活費、いくら日本人は生活費にお金をかけているか？ 消費者金融、カード利用の問題点と利用方法。複利を味方につけるか敵に 第5回 三大支出2 住宅費はいくらかかるか？ 賃貸と持ち家論争。住宅ローンはいくらかかるか？ 第6回 社会保険と生命保険を学ぶ(財団法人生命保険文化センターゲスト講師による座学) 第7回 三大支出3 老後資金2000万円問題。年金はいくらもらえるのか。 第8回 資産運用 自己責任の時代を生き抜く。退職金、確定拠出年金は実は投資信託での運用です。投資信託のベースは何か。複利を味方にしよう。 【授業および学習の方法】 講義中心に進めますが、受講生の理解を助けるため適宜質問し回答してもらいます。このキャッチボールは柔軟な頭脳と瞬発力を高めます。知識一辺倒では この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

	<p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>学習の課題となったデータを検索すること。学習の方法としてテキストを事前に読み全体像をつかんでおくこと(1時間程度)、授業で不明な点を解決すること、疑問のかわりが話題となっていないかに関心をもって観てください(1時間程度)。社会の仕組みの理解が深まります。特に倫理観の欠如が社会にどのように影響</p>
教科書・参考書等	<p>参考書:三好秀和著2017『銀行・証券・保険業界のビジネスモデルで学ぶ 金融キャリアの教科書』経済法令研究会 ISBN978-4-7668-3346-1 1 三好秀和、佐々木一雄著2017『3年で退職しないための就活読本』同友館 ISBN978-4-496-05257-6 1 6 0 0 円+税</p>
オフィスアワー	<p>木曜日 4 限目(授業前の時間)、研究室は幸町南 7 号館 3 F の個人研究室。</p>
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	<p>授業はパソコン持参必須です。レポート課題作成のために受講生家族のライフプランを作成してもらいますが、個人情報保護の観点からライフプラン自身は提</p>
参照ホームページ	<p>http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/</p>
メールアドレス	<p>miyoshi.hidekazu@kagawa-u.ac.jp</p>
教員の実務経験との関連	<p>日本FP学会理事、確定拠出年金の試験制度であるDCプランナーの試験委員は2000年からしています。以前はビジネスマンとして金融機関に従事していま 養成で教えています。</p>